



パナソニック松愛会
 京都支部
 2013年7月
 第17号
 発行人 永田 一良
 TEL/FAX:075-922-3247

京都支部ホームページ <http://www.shoai.ne.jp/kyoto/>

2013年度
 年次総会

143名が年次総会に出席

満場一致で承認

5月18日(土) 午前11時から国立京都国際会館で、会員143名の出席で年次総会を行いました。

第1部は、会員と配偶者24名の物故者に黙祷後、北村支部長からパナソニック社の現状と松愛会の状況を説明し、昨年度の会員皆様のご協力に感謝しつつ今年度も引き続きのお力添えのお願いがありました。また、4月20日開催の全国大会の紹介がされました。

来賓の松愛会本部・野崎副会長のご挨拶後、社長メッセージの披露、前年度の支部活動経過、会計報告が



143名が出席した年次総会

ありました。

今年度は北村支部長と波多野・照井・徳野の3地区委員が退任し、中小路・藤田・細野・小南の4地区委員が就任しました。北村支部長から永田新支部長になり、左記の挨拶のとおり決

意表明がされました。

続いて、永田新支部長から本年度の活動方針が示され、会計から今年度の予算計画を説明後、今年度の活動方針は全て満場一致で承認されました。最後に松愛会のスローガンを唱和後、

第1部を終えました。会場後方では今年も「文化作品展」が開催され、大勢の方が熱心に作品に見入っていました。

第2部の懇親会は、西脇副支部長の司会で、野崎副会長の乾杯のご発声で開宴しました。懇親会は滞りなく過ぎ、今年は波多野元三郎さんが京都支部の発展を祈って締めくくられて閉宴となりました。

思いづくままに

友人から退職後の生活で必要なことは「きょうよう」と「きょうい」と言われまして。どのような教養と教育と思っているかと「きょうやる用事」と「きょう行くところ」という意味だと教えられて納得しました。

支部長就任にあたり

永田 一良



このたびは北村前支部長の後を受けて支部長を拝命しました。責務の重大さに身の引き締まる思い

ですが、会員の皆様に喜ばれ、感謝されるよう知恵を出し、汗を流して愚直に行動してまいる所存です。

京都支部は3月末の会員数が1340人で、全国でも4番目の大きな支部にまで発展を成し遂げました。当支部のいい点は、会員相互に堅苦しさもなく、和気

あいあいとした雰囲気の中で支部活動や同好会活動が実施されているところです。特に女性会員が全国で一番多く、支部活動や同好会活動にも大変お元気に参加され、世話役としても広く活躍されており、そんな自慢の支部ですが、将来性の面では少々の懸念材料が見られます。その理由は、若年会員の参加の減少傾向です。年金受給制度の変更等に伴って、60歳退職後も仕事を続けられる方が多くなったのがその一因として考えられます。

今後には働きながらでも参加できる内容を企画するなど、若年会員にも「参加したい」という魅力を感じていただける支部活動を展開していきたいと考えております。

京都支部役員の皆さんと力を合わせ、また会員の皆様方のお力添えを賜りながら、京都支部のよき伝統を継承しつつも、時代の変化にも適応した活動を目指してまいりますので、一層のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

松明に先導され、八坂神社を出発し、四条大橋での神輿洗に向かいます。通った後で、松明の周りの落ちた竹炭を求める人をよく見かけます。行事が同時進行で、数年かけて楽しむのがポイントです。

（栗山 茂）